

# 大和証券グループ CSR活動のあゆみ

2004年	
1月	CSR/ブランド経営ウェブサイト開設
3月	「ディスクロージャー・ポリシー」を制定
5月	国内企業に投資するSRI投資信託「ダイワSRIファンド」の販売を開始
6月	委員会等設置会社へ移行
7月	グループ本社に「CSR室」を設置
10月	大和証券グループ従業員向け確定拠出型年金にSRIファンドを採用
11月	「国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)」に加盟
2005年	
2月	スマトラ沖地震・インド洋津波の被災地への長期支援を決定(「大和証券グループ津波復興基金」) 大和証券が「帳票類電子化プロジェクト」を開始
6月	ジュニア・アチーブメントが提供する体験型経済教育プログラム「ファイナンス・パーク」へ特別協賛 「女性起業家支援プロジェクト」を開始
7月	金融および投資家の視点からサステナビリティレポートの有用性を考えるため、GRI改訂(G3)の作業グループに大和証券投資信託委託が参加
10月	大和証券が、報告書電子交付一括申込を行うダイワの「eメンバー」サービスを開始
11月	NPOスタッフの育成のための「ダイワSRIファンド」助成プログラムを開始
2006年	
1月	『持続可能性報告書2005』が(財)地球・人間環境フォーラム主催の「持続可能性報告大賞(環境大臣賞)」を受賞
2月	「排出権価格参照クーポン付ユーロドル債」を開発 「ダイワ・エコ・ファンド」の販売を開始
4月	CSRのグループ基本戦略を含む新中期経営計画「Passion for the Best」2008を発表 『持続可能性報告書2005』が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞
5月	大和証券投資信託委託がUNEP FIと国連グローバル・コンパクトによる「責任投資原則(PRI)」に署名
10月	ダイワ・エコ・ファンドの助成プログラムとして、環境NPOジャパン・フォー・サステナビリティと「ダイワJFS・青少年サステナビリティ・カレッジ」を開設
11月	『持続可能性報告書2005』が国際比較調査(グローバルレポート2006)において、34位(日本企業1位)にランキング
2007年	
1月	大和証券グループが「Global 100(世界で最も持続可能な企業トップ100)」に選出 世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)に出席
2月	『持続可能性報告書2006』が(財)地球・人間環境フォーラム主催の「持続可能性報告優秀賞(理事長賞)」を受賞
4月	『持続可能性報告書2006』が東洋経済新報社主催の「サステナビリティ報告書賞/優良賞」を受賞 個人投資家向けCSRセミナー「投資の新潮流—持続的成長企業を探る」を開催
5月	大和証券が、お客様向け環境セミナー「ダイワの環境フォーラム2007～いま地球に何が起こっているのか～」を開催
7月	地球温暖化対策への取り組みとしてグループ全社でクールビズを実施
8月	大和証券投資信託委託が「地球環境株・外債バランス・ファンド(愛称:地球くん)」と「地球環境株ファンド(愛称:環境くん)」を設定
9月	中国での4つの温室効果ガス排出削減プロジェクトが日本政府より承認
2008年	
2月	グループ本社が国連開発計画(UNDP)東京事務所、世界銀行、コンサベーション・インターナショナル・ジャパン(CIジャパン)が共催した、地球環境シンポジウムに特別協賛 大和証券SMBCと大和総研が「地球温暖化問題と低炭素社会構築にむけて産業界に求められること—エコイノベーション—」を開催
3月	「ワクチン債」を販売 東京大学において「大和証券グループ アジア留学生奨学基金(仮称)」を創設
4月	「ラッセル世界環境テクノロジー・ファンド」の販売を開始 「ワーク・ライフ・バランス推進委員会」「ワーク・ライフ・バランス推進室」を設置 厚生労働省「仕事と生活の調和推進モデル事業」に参加
5月	北京大学において大和証券グループ寄付講座を開設 京都大学のiPS細胞研究の事業化支援に合意
6月	「排出権価格連動クーポン付米ドル建債券(ワールドクールボンド)」の販売を開始 「子育てサポート認定事業主マーク(愛称「くるみん」)」を取得

## 「持続可能性報告書2008」 読者アンケート

大和証券グループの「持続可能性報告書2008」をお読みいただきましてありがとうございました。  
下記のウェブサイトで大和証券に対するアンケートを実施しています。ご意見・ご感想をお聞かせください。

<http://www.daiwa-grp.jp/branding/report/>

## GRIアプリケーションレベルについて

本報告書の作成にあたって参考しているGRI\*1の「サステナビリティ・レポート・ガイドライン2006」は、報告書がGRIに準拠している度合いを示すために、同ガイドラインの規定にもとづく準拠レベル(GRIアプリケーションレベル\*2)を宣言することを推奨しています。  
大和証券グループ「持続可能性報告書2008」は、GRIアプリケーションレベルにもとづく「B」クラスの基準を満たしていると考えています。

\*1 GRI(Global Reporting Initiative):サステナビリティレポートの国際的なガイドラインを立案し、普及させることを目的とした団体。世界各地の企業、NGO、コンサルタント、会計士団体、事業者団体などのマルチ・ステークホルダーが参加し、1997年秋から活動。  
<http://www.globalreporting.org/Home>

\*2 GRIアプリケーションレベルにつきましては、下記URL(英文のみ)をご参照ください。  
<http://www.globalreporting.org/GRIReports/ApplicationLevels/>

WEB版 活動報告 ●GRIガイドライン内容索引



この報告書は、有機溶剤等を使用しない「水なし印刷」で印刷し、揮発性有機化合物(VOC)成分が1%以下の「大豆油インキ」を使用しています。

## お問い合わせ先

所在地 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
グラントウキョウ ノースタワー  
電話番号 (03) 5555-1111 (代表)  
eメールアドレス brand@dsgi.daiwa.co.jp  
URL <http://www.daiwa-grp.jp/>

企画制作協力 株式会社クレアン